



市ホームページには、
たくさんの写真と詳しい
内容を掲載しています。



まちのわだい TOPICS



—不知火グラウンドで市総合防災訓練を開催—

いざというときに備えて

11/16 市総合防災訓練を開催し、県警や宇城広域連合消防本部、近隣住民ら約200人が参加しました。訓練はM7.3の地震で、市は震度6強を観測。家屋倒壊や土砂災害による人的被害の発生、津波警報が発令された想定で実施しました。市灾害対策本部の設置に続き、がれきや土砂内に取り残された人の救助を住民と関係機

関が協力して救助する訓練などを実施。炊き出し訓練やAEDを使った救命法などの体験ブースも設けられ、参加者らは、災害時の行動を学びました。参加した10代男性は「もしものときに備えて、年1回は訓練に参加をしたほうがいいと思った。また、日頃から火災を起こさないよう心掛けたい」と話していました。



生徒にバッティング指導をする江藤さん

— 江藤省三少年野球教室を開催 —

プロの技を直伝

11/15 野球技術の向上などを目的に、松橋町野球協会主催の野球教室が岡岳グラウンドで開催されました。市内中学校の野球部から約40人が参加した教室では、江藤さんがバッティングなどの基本動作を直接指導。江藤さんは「この活動が野球をうまくなりたいと思う子どもたちの後押しになれば」と語りました。



祭りのフィナーレを飾った豊川豊年餅つき踊り保存会の餅投げ

— 第12回豊川まつりが豊川小で開催 —

地域の絆を深める一日

11/15 地域の絆を深めることを目的に、地元住民で構成する実行委員会が豊川まつりを開催。地区的伝統文化芸能の披露や出店、展示などが行われ、多くの人でにぎわいました。また、豊川小5・6年児童の有志で結成された子ども実行委員も全体の企画運営や自分たちで考えたバザー、輪投げなどのブースを運営しました。



入選した尚綱高校のキンパカバイチーム(写真前列左4人)と
グランプリに輝いた赤星さん(写真前列右)

— 8回目のベジコンテストinうき —

多様な野菜レシピが競い合う

11/8 「さしあり野菜事業」の一環で、ベジコンテストを開催。「こどもが笑顔で食べる野菜レシピ」をテーマに、県内外122品の応募の中から選ばれた3品の実食審査を行いました。グランプリには、宇土中1年の赤星杏樹さんの「身体整う栄養バランス! 野菜嫌いの弟に捧げる野菜たっぷり3色だご汁」が選ばされました。



園児たちに種のまき方を教えるサンマルクファームの社員

— 小麦栽培開始を前に播種祭を開催 —

小麦の成長を願って

11/14 国内外でカフェなどを展開するサンマルクホールディングスが、松橋町浅川地区的農地で播種祭(種まき)を開催。同社社員に加え、末松市長や市プロモーション大使、地権者など約60人が参加しました。参加した地元女性は「小麦の種を見たのは初めて。今日まいた種の成長がとても楽しみ」と話していました。



参加者同士で協力し合って、調理を進めた

— 市こどもセンター子育てひろばで食育講座を開催 —

今日から使える子どもにやさしい食育

10/29 離乳食から大人の食事までに応用できる時短料理で子育ての負担を軽くしようとセンターアーが開催。親子9組の参加があり、ルーの代わりに米粉を使って作るシチューと30分でできるパンを作りました。参加した親子からは「米粉を使った料理は初めてで、家の献立に取り入れていきたい」などの声が聞かれました。



宇城地区中学生音楽会でダンスを披露する訪問団の生徒たち

— 相互交流を続けるブーンレイ中から今年も訪問 —

交流を深め国際感覚を豊かに

11/11~14 シンガポールブーンレイ中学校訪問団15人が訪問。市は国際感覚豊かな青少年の育成を目的に同校と平成21年から交流しています。訪問団は、農業体験や市内各中学校を訪問し、14日には「宇城地区中学生音楽会」に出演。シンガポールを象徴する3つの文化が融合したダンスを披露し、交流を深めました。